

令和7年度 建設業の魅力発信の取組み状況

福岡県建設産業魅力発信&女性活躍イベント2025

令和5年度から始めた建設産業の魅力発信を更に深化させるため、①全国初となる県公認の『建設産業PRプロデューサー』を任命しました。また、②普通高校の学生が初めての現場をキリトル『青春BUILD 福岡県×ケンセツ×PHOTO』、③建設を専攻する高校生の『現場体験会』、④小中学生やそのご家族が建設産業の今を体験する『ふくおかケンセツ☆ジュニアラボ』、⑤建設産業で活躍する女性たちと建設産業の未来を語る『Constructive Talk Cafe』を開催。

①建設産業PRプロデューサー

福岡県出身 デミー博士こと出水享氏に任命！



▲知事による任命式の様子

②青春BUILD 福岡県×ケンセツ×PHOTO

折尾高等学校（土木編）：17人
若葉高等学校（建築編）：13人

普段、建設と全く関わりのない高校生がはじめての現場で、はじめての建設の世界と出会う。



▲撮影写真



▲当日の様子

③現場体験会

浮羽工業高校：20人
大牟田高校：35人



▲体験会の様子

④ふくおかケンセツ☆ジュニアラボ

対象者：主に小学生・中学生

会場：久留米シティプラザ六角堂広場

内容：PRプロデューサー、業界6団体協力による、くおかケンセツ体験型コンテンツ
インフラツーリズム
ステージイベント

参加者：2,395人（延べ人数）



▲イベントの様子



▲イベントポスター

⑤Constructive Talk Cafe

対象者：建設産業に興味のある女性 等

会場：天神ワンフクオカビル

福岡天神蔦屋書店SHARELOUNGE
内容：モデレータとパネリストによるトークセッション

参加者：52人（土木編）、47人（建築編）



▲イベントの様子



▲イベントポスター

令和7年度「親子で楽しむ建設現場体験会」

【佐賀県】

- 1 日時 令和7年11月8日（土）、9日（日）
- 2 場所 佐賀唐津道路工事現場（佐賀市嘉瀬町）
- 3 参加者 小学4～6年生とその保護者 18組 39名
- 4 内容 ・橋台への「夢描き体験」
・建設機械操作体験

参加者	11月8日（土）		11月9日（日）		計
	午前	午後	午前	午後（雨）	
子ども	5人	3人	6人	4人	18人
保護者	5人	3人	7人	6人	21人
計	10人	6人	13人	10人	39人

夢描き体験



昇降車



バックホウ



ブルドーザ



記念品プレゼント

- ①オリジナル
トートバッグ

NEW



- ②集合写真
（ラミネート加工）



- ③飴のつかみ取り
- ④各種ノベルティ

夢描き壁

トイレ

昇降車

バックホウ

ブルドーザ

10トンダンプ

ローラー

ドローンA機 ドローンB機 シミュレーター

ドローン+シミュレーター



ダンプ



タイヤローラー





「土木の日」のイベント開催

産学官で連携して「土木の日」のイベントを開催し、県民の皆さんに土木の役割を知ってもらうと共に、土木を身近に感じてもらえるよう、パネル・模型展や現場見学会などを通して土木の魅力を発信!!



パネル展示



ダム模型での実験



現場見学会



女神大橋 開通20周年記念「主塔登頂ツアー」の開催

普段は立ち入ることができない“女神大橋の主塔（高さ約175m）”に登り、長崎港を360度見渡せる特別体験イベントを開催!! 長崎の景観と土木技術の価値を体感していただきました。



パネル展示・説明



主塔登頂

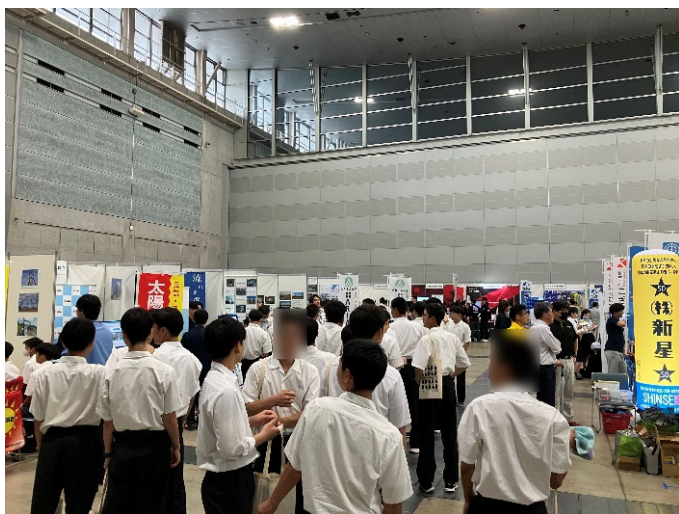


橋の内部

建設企業の魅力発見フェア（合同説明会）

就職活動を控える高校3年生や若手求職者を主な対象に、県内建設産業への就職を促進する機会として、県内建設企業が一堂に会するフェア（合同説明会）を開催。

- 日時：令和7年（2025年）6月10日（火）
- 場所：グランメッセ熊本（上益城郡益城町）
- 参加者：出展企業62社、高校生等約780人



工業高校オープンキャンパス支援

中学生やその保護者を対象に、工業高校土木科の志望者増につなげるため、工業高校オープンキャンパスにおいて、建設産業の魅力PRに関する取組みを支援。

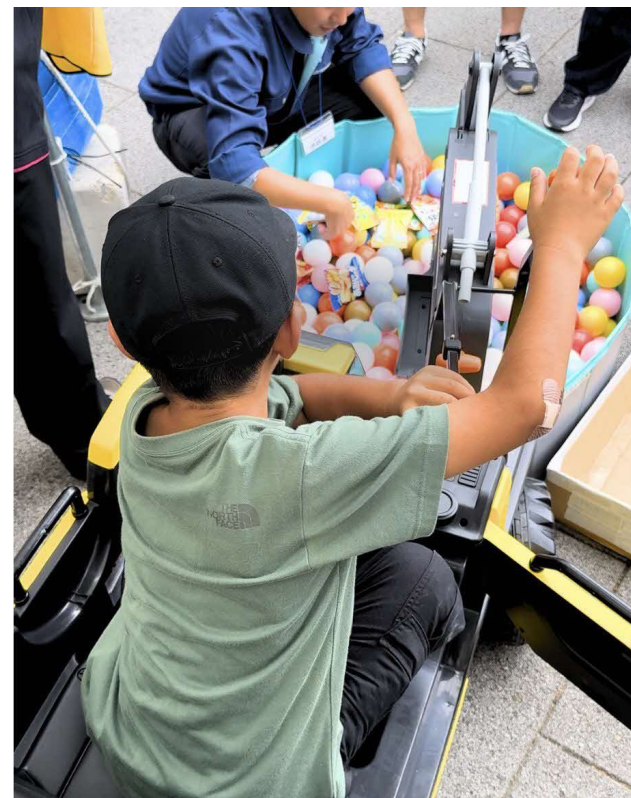
- 時期：令和7年（2025年）7月～8月
- 対象校：熊本工業高校(熊本市)、玉名工業高校(玉名市)、小川工業高校(宇城市)、球磨工業高校(人吉市)、天草工業高校(天草市)
- 内容：VR重機操作体験、学校紹介動画・パンフレットの作成、熊本地震復興パネル展示 など



建設関連広報

主に未就学児やその保護者に対して、建設業の役割や魅力に触れてもらうため、イベント会場において土木体験ブースを設置。

- 日時：令和7年（2025年）10月18日（土）～19日（日）
令和7年（2025年）10月25日（土）～26日（日）
- 場所：花畑広場（サクラマチクマモト前）
- 来場者：約2,400人



「土木の日」フォトコンテスト

「土木の日」の取組みの一環として、土木の世界や建設産業の魅力を、幅広い県民に身近に感じていただく契機とするため、フォトコンテストを開催。

■テーマ：「わたしの推し土木」

■応募期間：令和7年(2025年)6月23日～令和7年(2025年)10月10日

■募集結果：合計216点（一般：53点、小学生：17点、中高生：103点、インスタ：43点）



Doboku no hi Photo Contest
2025 土木の日 フォトコンテスト

テーマ
わたしの推し土木
あなたが推し(魅力的)だと感じる日常の中の「土木」に関する写真を気軽に応募ください！

賞
●道路、橋、ダム、トンネルなど、建設中の土木プロジェクトや現場で働く人達の様子
●現在稼働している道路、橋、建物など、人々を変える土木施設のある風景

応募部門
小学生部門
中学・高校生部門
一般部門
インスタ部門
※小学生部門は親子応募OK

応募期間
令和7年6月23日～
令和7年10月10日

結果発表
令和7年11月18日
(土木の日)

審査員
土木の日フォトコンテスト
実行委員会

主 催
熊本県土木部監理課

事務局・問い合わせ先
土木の日フォトコンテスト2025運営事務局
(株)RKKメディアプランニング内 kensetsu@rmp.co.jp

グランプリ
(各部門1作品)
アマゾンギフトカード
1万円※
+副賞

入賞
(各部門4作品)
アマゾンギフトカード
3千円※
+副賞

コンテストの応募方法
小学生部門
中学・高校生部門
一般部門
インスタ部門



＜小学生部門グランプリ＞



＜一般の部門グランプリ＞



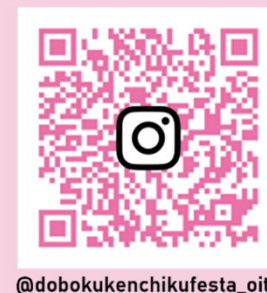
＜中高生部門グランプリ＞



＜インスタ部門グランプリ＞

建設業の魅力発信の取組み拡大に向けて

- 建設業協会青年部会と国土交通省 大分河川国道事務所、大分県の3者共催で、「第5回土木建築フェスタin大分駅前」を開催
大分工業高校、鶴崎工業高校、大分高専、大分大学、日本文理大学も参加し、産学官が連携して、建設産業の魅力を発信した。
- 開催日／令和7年10月18日(土)10:00～16:00 天候／晴れ一時雨
- 会場／大分駅前中央口(北口)広場 来場者数／2,737人
- 出展内容／・災害対応車両試乗体験 ・バックホウ操作体験 ・高所作業車試乗体験 ・アーチ模型組み立て体験 ・災害VR体験
・建設現場VR体験 ・ドローン操作体験ほか



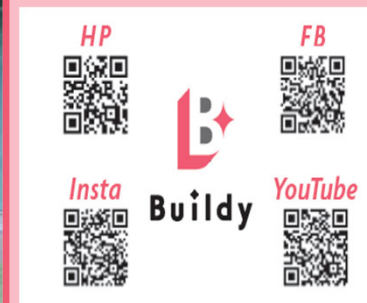
建設業の魅力発信の取組み拡大に向けて

「建設産業に女性のチカラを」

大分県では令和2年度から建設産業における女性の活躍を推進する事業を展開し、経営者向けのセミナーや女性が技術を学び職域拡大につなげるスキルアップセミナーのほか、建設産業で働く女性のロールモデルに取り組んできました。ロールモデルとなる女性たちは自らが社内で活躍するとともに、高校生など学生との交流会を通じて建設産業の魅力を発信しています。

Buidy2025 Contents

- 8月
- 01 キックオフセッション Buildy-STARTING OVER-
 - 02 Buildy研究会
 - 03 労働環境・処遇改善セミナー
 - 04 スキルアップセミナー
 - 05 スキルアップセミナー報告会
- 11月
- 06 交流会 Buildy×BUILD OITA
- 2026
2月
- 07 成果発表会 Buildy-RISE IN CONSTRUCTION-
- 重複参加可能



建設業の魅力発信の取組み拡大に向けて

橋梁建設中の「庄の原佐野線」 工事現場を見学!

橋梁架設の手順や役割を学び、高所作業車やクレーン車に乗車体験。開通で感じるその迫力に大人も子どもも大興奮でした。

「庄の原佐野線」は、都市活動の活性化や交通混雑の緩和、広域道路ネットワークの強化を目指し、整備が進められています。



現場見学協力会社：九鉄工業株式会社

橋梁製作工場を見学

「三井E&S大分工場」は、橋桁や大型クレーンなどの巨大構造物を製造する国内有数の拠点。精密加工から組立・塗装まで一貫して行い、国内外へ高品質な製品を送り出しています。



170万㎡の広大な敷地で橋桁やクレーンを製造している「三井E&S大分工場」へ。普段入らない工場で、圧倒的なスケールの製造現場と職人技に感動しました。

現場見学協力会社：三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社

スマホを用いた3D測量・VR体験

VR体験や3D測量、ラジコンバックホウやドローンを動かしたりと、最新技術を体験。ゲーム感覚で楽しみながら、土木について学びました。



ドローンやスマホを使った3D測量により、現場の状況を短時間で可視化でき、従来の方法に比べ、大幅に効率化されています。測量時間の短縮や人手不足の解消につながっています。

ラジコンバックホウを体験!

ドローンを飛ばしてみよう!

子どもたちの感想

1つの仕事に色々な形で大勢の人が関わっているんだなと印象が変わりました

色々な技術を使って建物などを作っているんだな

暮らしの安全を支えているカッコいいお仕事

最新技術がすごかった、カッコいいと思った

保護者の感想

暮らしの安全を支えているカッコいいお仕事
今の時代に合った働き方を取り入れ、女性も活躍されていて良い印象でした
技術革新に伴って、業務が効率化する業種だと感じました

おおいた建設人材共有ネットワーク

BUILD OITA



おおいた建設人材共有ネットワーク事務局

(公財)大分県建設技術センター ☎097-556-2982
大分県建設業協会 ☎097-536-4800

土木の日

BUILD OITA バスツアー

11/15(土)
REPORT

親子で
体験

デジタル技術で進化する建設のシゴトを こどもたちが見学&体験!

11月15日(土)、おおいたの将来を担うこどもたちに土木や建築の魅力を伝える「親子で体験 土木の日 BUILD OITAバスツアー」が開催されました。

建設産業では、これまでの3K(きつい、汚い、危険)から新4K(給与・休暇・希望・カッコイイ)への転換を実現するため、3D測量やICTなどの新技術の活用に取り組んでいます。今回は、大分県内の小学5年生から中学生まで(保護者同伴)を対象に、普段は入ることのできない工事現場や橋梁製作工場の見学、スマホ3D測量やVRなど新技術の体験を行いました。

工事現場を見学!

橋梁製作工場を見学

3D測量・VR体験

BUILD OITA(おおいた建設人材共有ネットワーク)とは次世代を担う「建設人材」を確保・育成するための産官連携組織(建設業関連団体、大学、高校、国、自治体などで構成)です。建設産業の意義・魅力発信を目的とした様々なイベント等を開催しています。

今回、様々な新技術の活用をテーマとした体験イベントを開催し、変わりゆく建設産業を若い世代に実感して貰うことができました。

詳しくは、BUILD OITAのホームページ(QRコード)をご覧ください

建設業の魅力発信の取組み拡大に向けて

次世代の担い手確保のため、大分県内の小・中学生向けに、モノづくりの楽しさに触れる体験型講座「土木・建築 おしごと教室」を開催した。

講座数:7講座(延べ2日間) ※1講座:60分・定員20~30組 募集対象:小学5年生~中学2年生(および保護者) 参加者:児童・生徒109名



BUILD OITA スクール
親子で体験!
土木・建築 おしごと教室
2025 9/27±28日
対象 小学5年生~中学2年生

参加費 無料
9/12までお申し込みください

SCHEDULE
1日目 9/27(土)
講座1 9:00~10:00 (定員30組)
講座2 11:00~12:00 (定員20組)
講座3 13:30~14:30 (定員20組)
講座4 15:30~16:30 (定員20組)
2日目 9/28(日)
講座5 10:30~11:30 (定員20組)
講座6 13:30~14:30 (定員20組)
講座7 15:30~16:30 (定員20組)

講座1 建築
・3D設計ソフトで設計体験
・3D設計ソフトで設計体験

講座2 コンクリート
・親子でペーパーウェイト製作体験
・コンクリートタイズ

講座3 防災・減災
・防災VR体験
・ブロック塀の危険性体験

講座4 地盤
・ボーリング調査(コア採取)体験
・液状化実験

講座5 測量
・ドローン操縦体験
・測量体験

講座6 最新技術
・ラジコンショベルカー操作体験
・ドローン操縦体験

講座7 土木設計
・橋のプラモデルの組立て
・橋梁建設現場VR体験

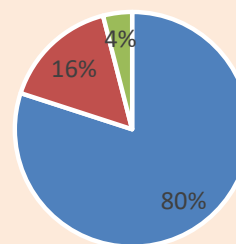
会場 (公財)大分県建設技術センター
大分市花井町2-5(平和市民公園内)

お問い合わせ BUILD OITA
大分県建設技術センター
TEL:0975-22-1111 FAX:0975-22-1112
E:info@buildoita.jp



保護者への「高い満足度」と事業のもたらす「イメージアップ効果」

イメージの変化



- ・建築士になりたい息子が興味を持ってくれた
- ・子どもと一緒に大人も楽しめた
- ・色塗りが楽しかった
- ・ワクワクして話が聞けた
- ・付き添いでもとても勉強になった
- ・1つづつしっかり体験できた
- ・土木の最新技術はすごい
- ・測量の機器を実際に触れた
- ・最新技術に触れることで建設業のイメージが良くなった
- ・楽しく建築に触れることができた
- ・仕事のやりがいがあった

■ 変化した ■ 変わらない ■ 未記入

(保護者アンケートより抜粋)



令和7年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 県内11地区の小学校でイベントを開催



【重機体験】



【出前講座】



【区画線施工体験】



【橋の模型作り体験】



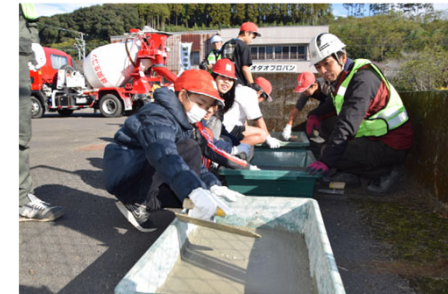
【造園体験】



【測量体験】



【コンクリート体験】



令和7年度 土木の魅力発信の取り組み（宮崎県）

● 高校生を対象に現場見学会を開催

- ・ 県道安賀多通線工事現場見学
- ・ 天下防災ステーション見学
- ・ 西階公園野球場整備事業見学



建設業の魅力発信に向けた取組

- 作業体験や模型実験を取り入れた“ふれあい型”の現場見学及び出前講座を開催
- 建設工事やインフラ施設をテーマにしたフォトコンテスト及びパネル展を開催
- 県内高校生等を対象とした合同企業説明会や就職応援キャラバンを開催
- 国、建設業協会等と連携し、一般県民向けに「土木フェスタ」イベントを実施
- 建設産業のPR動画をSNS等で配信



建設業の魅力発信ポスター



女性技術者交流会 in 県立美里工業高等学校

日 時 : 令和7年12月15日(月) 13:00~15:40

場 所 : 沖縄県立美里工業高等学校

参 加 者 : 高校生(11人)
民間(teamけんせつ美ら小町) 8名・県女性技術者(2名)

内 容 : 将来を担う女性技術者の確保に向け、建築科を専攻する女子高校生と民間・県等の建設業に従事する女性技術者が集まり、建設業の現状や魅力に関する意見交換会を開催



令和7年度 建設業の魅力発信の取組み

建設技術系職員等による小中学校出前講座

内 容： 将来の担い手確保のため、特に離島の小学校高学年から中学生向けに、建設業への興味や理解を深めるための出前講座を開催。

与那国町立久部良中学校

講義の様子



クイズ出題



粟国村立粟国小学校

耐震実験（クラフト作成）



県内の建設現場を見学し、
土木・建築の技術や工法などの説明を聞きながら、
沖縄の建設業について親子で学びます。

対 象：小学生（4年生以上）～中学生とその保護者
実施日時：令和7年9月15日（月）10:00～16:00
実施場所：南風原バイパス（南風原町宮平）、幸地インター線（西原町幸地）
募集人数：10組（20名）程度
集合場所：沖縄しまたて協会（浦添市勢理客4-18-1 トヨタビル）
参加費：無料（昼食・飲み物付き）
参加申込方法：Googleフォームにて受付（QRコードまたはURLから）
<URL： <https://forms.gle/4v6Wtjs43B3Bts1v7>>
参加申込締切：令和7年9月5日（金）※定員に達し次第締め切り



【主催】沖縄県 土木建築部 技術・建設業課
【参加申込・お問合せ先】一般社団法人 沖縄しまたて協会 技術環境研究所
TEL: (098) 879-2091 FAX: (098) 874-5301 メール: vision2025@shimatate.or.jp
※電話利用：10:00～18:00（12時～13時を除く）

「北九州ゆめみらいワーク」に建設業PRブースを出展

- 目的：中学生や高校生等を対象に、市内建設業の仕事内容等について直接聞き、体験することで建設業と地元企業の魅力を伝え、若者の職業観を醸成し、将来の地元建設業への就職につなげるもの
- 日時：令和7年12月11日(水)・12日(木) 9:30～16:00
- 会場：北九州メッセ
※来場者数：13,845人(建設業PRブース来場者数：約2,000人)

建設業PRブース「明日の北九州市を支える建設業」

- ◆協力団体：北九州GIS測量協会、北九州市建設コンサルタント協会、北九州市建設業協会、北九州港湾建設協会

測量ブース

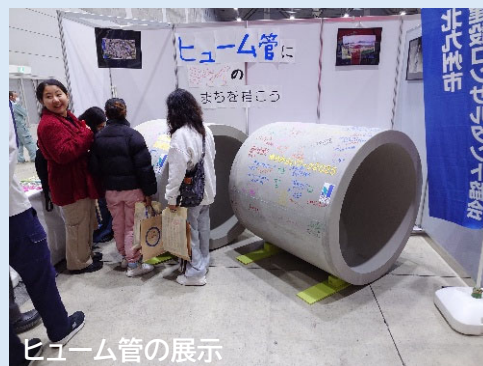
- ・測量器具体験
- ・測量文化資料の展示 など



測量器具体験

設計ブース

- ・ヒューム管の展示
- ・管路更正方法の紹介など



ヒューム管の展示

工事ブース

- ・消波ブロックキャンドル作成
- ・釘打ち体験 など



消波ブロックキャンドル作成



釘打ち体験

ウェブサイト「ケンセツ男子・ケンセツ女子」でPR

建設業の仕事で活躍するカッコイイ若者「ケンセツ男子・ケンセツ女子」を紹介！

まちをつくる。
くらしをつくる。
みらいをつくる。



『ケンセツ男子・ケンセツ女子』とは？

世界遺産に登録された官営八幡製鐵所の創業以来、「ものづくりの街」として、日本産業の近代化と高度経済成長の礎を築いてきた北九州市。本市には、ものづくりの歴史の中で、脈々と受け継がれた技術や職人を有する建設業者が数多く存在します。こうした建設業の現場でイキイキと働く若者・女性たちの姿を専用サイトで紹介しています。

※ 現在69名のケンセツ男子・ケンセツ女子を掲載中!!

『ケンセツ男子・ケンセツ女子』サイトはこちら

URL：<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kensetsu-danshi-jyoshi/>

「ケンセツ男子」「ケンセツ女子」いずれかで検索



■問合せ先／北九州市 技術監理局 技術企画課 093-582-2043

学・官・産 合同で現場研修会を開催

- 対 象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(1年生)
- 日 時：令和7年9月16日(火) 12:35～14:30
- 会 場：八幡工業高等学校 会議室、工事現場(市発注工事)
- 主 催：北九州港湾建設協会
(後 援:北九州市／協 力:福岡県立 八幡工業高等学校)

■ 学生リポーターによる現場リモートパトロール

- ・ 工事現場の状況や現場で働く技術者を生徒が直接取材し、リモートによる学校との生中継によって、学校にいる生徒もリアルタイムで現場を体験。



地元建設業団体と連携した現場見学会を実施

- 対 象：福岡県立 八幡工業高等学校 土木科(2年生)
- 日 時：令和8年1月27日(火) 9:00～12:30
- 見学先：若戸大橋(吊橋部)橋梁補修工事(6-2)
- 主 催：(一社)北九州市建設業協会
(後 援:北九州市／協 力:福岡県立 八幡工業高等学校)

■ 若戸大橋橋梁補修工事の見学

- ・ 北九州市のシンボルであり、国の重要文化財でもある「若戸大橋」の長寿命化対策工事の現場を生徒が見学。



建設業の魅力発信の取組み状況

福岡市

技術体験イベント「みらい建設フェスタ」の開催

道路、河川、下水道などの都市インフラの役割や建設業の魅力を伝えることを目的に、子どもたちを対象とした、見て・触れて・楽しめる技術体験イベント「みらい建設フェスタ」を開催。（来場者数：二日間累計 約14,600人）

「みらい建設フェスタ」前回の様子



「みらい建設フェスタ」前回の様子

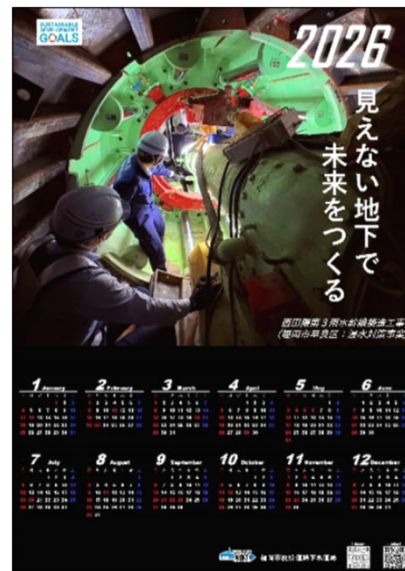


現場見学会の実施

- 県内の高校等の学校と連携し、工事現場の見学会を実施



ポスター型カレンダーの配布



SNSの活用

- Instagram、Facebookを活用した情報発信



現場見学ツアー



SNSの活用



出前講座



- ・出前講座の実施
- ・現場見学ツアーの実施
- ・SNSの活用

【概要】

- 令和7年度は沖縄県内の各関係機関及び業界団体と協力を図りながら、女子中学生、工業高校生向けの現場見学会・体験会等や業界団体のイベント開催への支援等の実施。

〈女子中学生体験会〉



〈工業高校生現場見学会〉



夏休み特別企画！
沖縄県建設業協会 女性部会 × 沖縄総合事務局

夏のリコチャレ2025

ミライをつくる建設女子の
しごと体験ツアー

8.1 FRI(金) 2025
※荒天時の予備日
2025年8月8日(金)

見学場所：那覇港新港ふ頭地区

沖縄県内の女子中学生とその保護者を対象に、女性技術者が建設現場の説明や仕事紹介を行います。
参加者には建設業の仕事体験を通じて、建設業の役割や意義、そして建設現場で活躍する女性たちの仕事や思いを感じていただき、将来の職業選択後としての「建設業（理工系職種）」に関する理解を深める機会を提供します。
また、沖縄県のインフラ整備がどのように人々の生活に貢献してきたか、そして建設現場における IT 活用や建設 DX についても学ぶことができます。

集合、解散：沖縄総合事務局（那覇市おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館）
プロジェクト紹介、DX見学後 → 大型バスにて現場へ移動

募集対象：沖縄県内の女子中学生とその保護者（保護者の性別は不問）
定員：30名（15組） → 女子学生（小学校5・6年生、中学生、高校1年生）
服装：運動靴、多少汚れても良い服装（スカートNG）

申込みはコチラ

イベントタイムスケジュール

13:00	参加者集合、受付
13:15	沖縄県女性技術者による沖縄県の事業プロジェクト・DX 紹介
13:30	インフラDXルーム見学
14:15	大型バス乗車後、工事現場へ移動
14:45	工事現場に到着 現場の概要説明・DXの取組紹介 現場監督の仕事紹介 現場見学 現場監督の仕事体験 集合写真撮影、移動
16:30	解散
17:00	

※なお、イベントタイムスケジュールは、天候等の都合で変更される場合があります。

RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2025
リコチャレ
内容：大規模プロジェクトの概要、社会資本整備の状況、災害対策、建設業関係の各団体の役割、いこいくる認定資格 など

第7回 おきなわ建設フェスタ

建設現場の現場を身近に感じ、建設業の魅力を知りたい方へ向けたイベントです。

ミニトラ体験、草花寄せ植え体験、建設機械高所作業車体験、線子木工教室、測量体験学習

体験イベントでは「最優秀賞」の賞状も出るよ！

無料！入場・体験にじじ 2025年11/9日 無料！

ばしょ 沖縄県総合運動公園（体育館・北口駐車場）

じかん 朝10時～夕方4時

屋内・屋外ブース・駐車場混雑状況予測

状況により変動がございますので最新情報は、当日に右記QRコードからご覧ください。

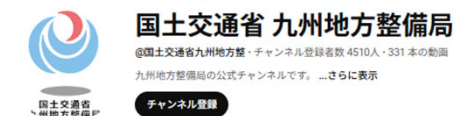
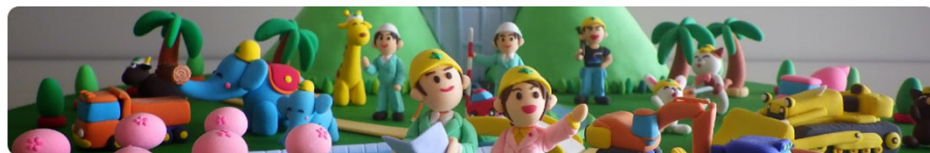
実行委員会：おきなわ建設フェスタ実行委員会

事務局：株式会社沖縄建設新聞

TEL: 098-867-1290 FAX: 098-867-1295

■ SNSを活用した魅力発信の取組

＜本局や各事務所において「X」「Facebook」「Instagram」「Youtube」を用い様々な情報を発信＞



SNS総フォロワー数 約 **90,000** 人

- ・ X : 約 75,500 人
- ・ Facebook : 約 6,000 人
- ・ Instagram : 約 3,900 人
- ・ Youtube : 約 4,600 人

■ 小学生を対象に重機乗車体験やドローン操作体験等を実施

＜延岡河川国道事務所が「土木の仕事に興味を持ってもらいたい」という思いで現場見学会を実施＞



■ パトロール車の乗車体験やTEC服を着用した写真撮影等を実施

＜川内川河川事務所が土木・建築フェスタで未来を担う子どもたち向けに出展＞

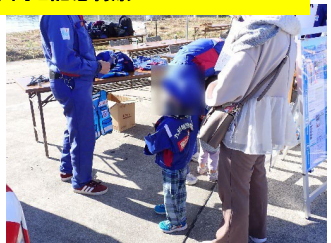
浸水ドア・降雨体験機



クラフトペーパー



TEC服を着用し車両と記念撮影



河川模型を用いた効果説明



■ 災害対応協力業者の取組状況をHPで発信

＜災害発生時の応急対応、復旧作業を実施した災害対応協力業者の取り組み状況を発信＞



災害対応協力業者の取組状況(一例)



▲施工業者



▲設計・調査業者